

PowerAI を活用しよう！ DL/ML環境構築サービス

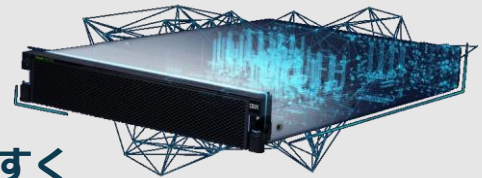
NVIDIA + IBM Power Systems AC922 "Newell"

NVIDIA社との共同開発による世界最速GPU Tesla V100搭載Linuxサーバー
プロフェッショナルAIのための次世代プラットフォーム

AI・ディープラーニングのためにゼロから設計
画像認識、音声認識、言語処理のビジネス活用

オープンテクノロジーでAIをより使いやすく
PowerAIにより機械学習、深層学習を容易に導入

世界最速のスパコンを支える最先端技術を自社で活用
米国エネルギー省の次世代スーパーコンピューター「Summit」「Sierra」に採用



PowerAI -ディープラーニング環境の導入支援-

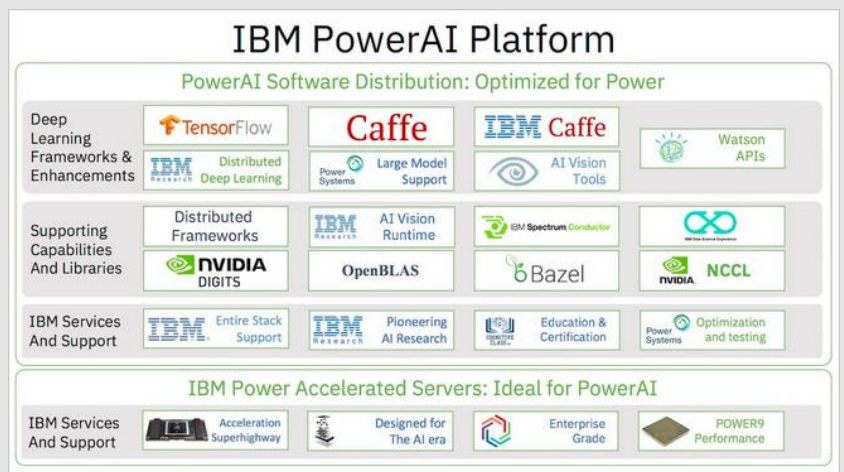
- ディープラーニングに必要な主要フレームワークとライブラリを最適化し、
簡単インストールで導入できるソフトウェアパッケージ「Power AI」を無償提供。
- IBMが独自に高速化したフレームワーク「Caffe」や「Tensorflow」を提供
- 独自機能として「DDL(分散ディープラーニング)」に対応



- ディープラーニング・フレームワーク
と関連ライブラリを含むソフトウェア
パッケージ配布

- 導入構築支援の提供

- 各種サポートサービスの提供



ディープラーニング簡易技術検証 (Pre-PoC) とは

お客様から受領したデータを用いて、ディープラーニングの活用イメージを具現化する簡易PoCです。



なにができるのか？

ディープラーニングの活用イメージが湧く

なにが必要か？

ディープラーニングに必要なデータについて理解が深まる

お客様の業務へのディープラーニング適用が具体的に進む

Pre-PoC の作成物とNext Action

- Pre-Pocでは、あくまでも適用ユースケースでディープラーニングが活用できそうかのあたりをつけることが目的です。そして将来像に向けて必要なステップをお客様にも意識いただくスタート地点となります。
- 将来像を意識しつつも、あくまで本検証では scope を絞って”これができたら次に進めるかも！”とお客様に納得いただける落とし所（検証のゴール）を合意します。

簡易技術検証報告書



result1 適用可能性が高いと判断

Pilot(プロト開発)

result2 精度向上の試行が効果的と判断

Poc(技術検証)

result3 検証のやり直しが必要と判断

再Pre-Poc

result4 適用可能性が低いと判断

提案しない

- ディープラーニング活用像とステップ
- 検証結果
- モデルにおける考察
- 次ステップのご提案